

LION'S



Lions Clubs International District 333-C

2015

vol.

4

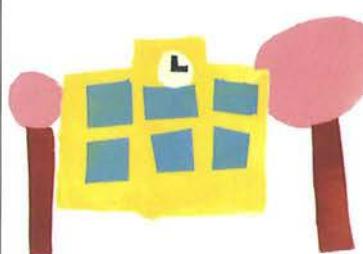
Head News

第61回地区年次大会



ちしろひやがしうちえん

いのゆづき
いじいあんず



4

おおあらりくと
かわにね

1	2	3	4
5	6	7	8
12	13	14	15
19	20	21	22
26	27	28	29
31	1	2	3
10	11	12	13
17	18	19	20
24	25	26	27
30			

5

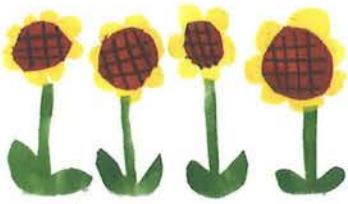
せきぐちはる せな かしんのか

せきぐちはる せな かしんのか								
1	2							
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28	29	30		
31								

6

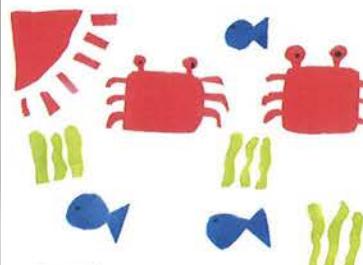
まつもとりみさ せまじんのか

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
14	15	16	17	18	19
21	22	23	24	25	26
28	29	30			



7 レンジリョウめす りゆづき

7 レンジリョウめす りゆづき						
1	2	3	4			
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



8

ひでせな せな かしんのか

ひでせな せな かしんのか							
1							
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
29	30	31	25	26	27	28	29

9

ゆきのねまき もりたなせな

ゆきのねまき もりたなせな											
1											
6	7	8	9	10	11	12					
13	14	15	16	17	18	19					
20	21	22	23	24	25	26					
27	28	29	30								

10

れしもりはな

れしもりはな									
1									
4	5	6	7	8	9	10			
11	12	13	14	15	16	17			
18	19	20	21	22	23	24			
25	26	27	28	29	30	31			



波木ガバナースローガン

温かい まなざし、高い理想と地道な努力

第61回地区年次大会を開催 ライオン達は、幕張で輝いていた!!



第61回を迎えた地区年次大会が、千葉市美浜区のホテルニューオータニ幕張において、4月19日(土)にレオ地区大会と前夜祭、20日(日)に代議員総会と記念講演会、そして年次大会記念式典が開催された。

一年を総括し、地区内の全クラブが参集する年次大会。

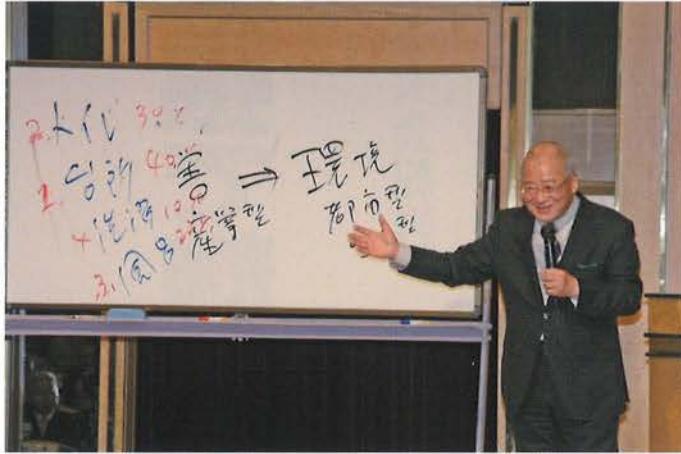
今年は6リジョンの12クラブがホストクラブとなつて、準備を重ねて來たが、参加者から好評価を得て終了することが出来た。

成功裡に終了出来たのも、参加登録された多くのメンバー（前夜祭：236名、年次大会：1356名）のおかげであり、厚くお礼を述べたい。

2015
4/18~19



地区年次大会記念式典の開会挨拶



年次大会記念講演会講師：北野 大 先生



前夜祭アトラクション：テキサス・ラングラーーズ



オープニングミニコンサート：千葉県立幕張総合高等学校合唱団





CONTENTS

HEAD NEWS

第61回地区年次大会

ライオン達は、幕張で輝いていた!!

- 
- 4 第61回地区年次大会報告
 - 8 地区年次大会を終えて
 - 10 前夜祭
 - 12 代議員総会
 - 16 年次大会実行委員会報告
 - 17 記念講演会・オーブニングコンサート
 - 19 アワード
 - 21 第2回ライオンズクエスト・フォーラム 全国大会
 - 22 地区献血・献眼・臓器移植推進研究会
 - 28 レオ海外研修会 台湾(台北・桃園)



31

第4回キヤビネット会議 告白

ネパール大地震支援報告

全日本ライオズ若手フォーラム

32
36
38
48
49
主な年間行事予定
地区情勢・編集後記
クラブ・リポート



バナー

今期のガバナーイメージは「ひまわり」です。

表紙絵 卒園記念カレンダー



ちばしわかばく ちしろだいひがし
千葉市若葉区の千城台東にある、千城東幼稚園
えんじ ことし そつえんきねん
の園児のみなさんが、今年の卒園記念にカレン
ダーグの制作をいたしました。
せいさく
えまいつき ぎょうじ か
たのしい絵で、毎月の行事を描いてくれました。

学校法人 泉学園
千城東幼稚園

第2号に統いて、再度のご登場です。
本誌掲載の「第61回地区年次大会」の写真は、地区
ALERT委員長 L高橋昌男が撮影したものです。



第61回地区年次大会報告



キャビネット幹事
L 黒川利夫

幕張の地で「第61回地区年次大会」が賑々しく、そして厳粛に開催されました。

10時より代議員総会が開催され、ガバナー提出の第1号議案から第11号議案まで、議案はすべて承認可決されました。

そして、地区ガバナー選出トシ吉原稔貴、次期第一副地区ガバナーエレクトL松本宰史、第二

エレクトL波木奏美による合唱団の清々しいすばらしい歌声に会場もかなりの賑わい、ひときわ多き拍手の客席、ライオンズの皆様も大変満足された様子でした。

午後1時30分L山村年次大会委員長の歓迎の挨拶、そしていよいよ年次大会式典の開始となりました。

地区ガバナーL波木奏美による開会宣言、開会のゴンゲ。厳かなセレモニーののち、地区ガバナー選出トシ吉原稔貴、次期第一副地区ガバナーエレクト、それぞれが入場されました。

副地区ガバナーエレクトL高橋克文が選出され、それぞれをご紹介し、閉会のゴンゲとなりました。

引き続いだ記念講演会。講師は北野大先生、「マー兄ちゃんのやさしい環境講座」のテーマで軽妙洒脱な語り口でわかりやすくお話をいただいた。



奏美よりご挨拶。

①各種企画された研修会は期待通りの成果を挙げられたこと。

②マイクラブ・マイプランは奉仕活動を自分達の手で掘り起こし、再び作り上げた喜びを感じ、また持っている力をあらゆる方向に發揮していただけたらと思います。

③青少年健全育成は、今年高等学校内に3レオクラブが誕生。同時スタート奉仕活動と国際親善としての交流活動を柱としたレオ活動に大きな光を感じられること。

④ライオンズクエストプログラムの普及活動が実りつつあり、千葉市内の高等学校で校内クエストの実践校として誕生されたこと。

一年間、会員の皆様からのご協力ご支援に対し、深く感謝を申し上げたいとのご挨拶がありました。

続いてご多忙のなか、駆けつけて

いただいた、ご来賓の熊谷俊人千葉市長様よりご祝辞をいただきました。

続いて、幹事報告、決議報告、会計報告が行われました。

地区ガバナーエレクトL吉原稔貴の紹介の後、L吉原稔貴より波木ガ



バナーを引き継ぎ、次期に賭ける熱い思いを語っていただきました。

第一副地区ガバナーエレクトL松本宰史、第二副地区ガバナーエレクトL高橋克文の紹介があり、すばらしいお披露目の場となりました。

そしていよいよアワードの贈呈式です。LCIFアワード、年次大会アワード、地区ガバナーアワード。

本年度は通常のアワードの他、新入会員スponサー賞（4人以上）、そして地区ガバナー特別賞として、ライオン歴50年以上13名のライオンが表彰されました。

本年度は最優秀（金賞）並びに地区ガバナー大賞は6R2Zの千葉ゆうきのLCCに与えられました。

続いて厳肅な雰囲気のもと、L波木ガバナーよりL吉原ガバナーエレクトにガバナーズキーと花束の贈呈。今期より次期へもしっかりと伝達されました。

12R2Z井深敏雄ゾーン・チエアパーソン（東金LC）よりL波木ガバナーにライオンの着ぐみの贈呈があり、そして次期キャビネット内局の皆さんのが掲げる横断幕が入場、次期年次大会委員長より、2016

年4月24日(日)、市川にて開催されるので、ぜひご参加いただきたい旨の発表がありました。

最後は、参加者全員で「また会う日まで」を歌うことができました。

最後に、L波木ガバナーの閉会宣言、そしてすばらしい笑顔での閉会ゴングが打たれ、すばらしかった第61回地区年次大会が閉会しました。

今回は、多くの方々のご協力のもと、目標であつた2時間での記念式典が目標通り2時間丁度で終了することができました。会場内で最後までお付き合いしていただいた会員が多くなったことに感動しました。

年次大会に先立ち、前日の前夜祭の前にレオ地区大会も盛大に開催されましたがことを、併せてご報告いたします。





地区年次大会を終えて

—ゴール真近!! ゴールしました? —

333-C 地区ガバナー

L波木奏美



すっかりライオンズクラブの活動で忘れていたのでしょう。

これは些細なことで済みますが、青少年の心だったらいかばかりでしうか。私は家庭内暴力、いじめ、それがエスカレートした暴力等が話題になるたびに、他人（周りの人々）は無力だと残念に思っております。

小学生の時代から学校全体で『ライオンズクエスト』のライフスキルプログラムを取り入れて、子供たちの気持に自信を持たせていくことが大切なのではないでしょうか。先生の子供に対する言葉一つでも、何が良い結果になるのか、どんな言葉がいけないのかを皆で学んで実践していく欲深いのです。

些細な水やり怠慢も気がつかなければ大変になるかもしれません。

子供や青少年育成は絶え間なく水をやること、すなわち大勢の人々の絶やすことなき気配り、温かいまなざしが常に必要なのです。

私のガバナー在任中に、高等学校内にレオクラブが3クラブ結成されました。その生徒数は合わせて60

名以上です。海外に行つたことない高校生がマレーシアのラウブLCのメンバー宅にホームステイして、現地のレオクラブメンバーとの交流から自己再発見に至るまでの早かつたこと、目を見張るものがあります。自発的なレオの誕生でした。

レオクラブ誕生のきっかけとなりましたのは、YCEプログラムの中のクラブtoクラブ制度で、マレーシアに限定しての、しかも短期派遣という変則的プログラムです。そこでマレーシアの308-B2ガバナー及びYCE委員長と面談し、安全な制度を互いに確立してきました。そして単一クラブの奉仕活動ではありますが、キャビネットが応援していくと考へ、今期実行に移しました。（海外旅行保険傷害保険加入）

以上のことと会員の皆さまにご報告できますことに感謝申し上げます。

ライオンズクエストの実践校もできました。道徳教育に劣らぬプログラムだと実践校から評価されております。今期、私にどれほどの自信を持たせてくれたことか。青少年育成・レオ委員会、YCE委員会、ライオンズクエスト委員会の皆さまに

また、私が「よろしくお願ひします」と言つておりますうちに、カンボジアのアンコールワットにもう一つライオンズクラブが結成されました。

この地の青少年育成には、多方面に亘る活動が必要とされています。校舎を建てる事、運動場を作る事、上下水道をどのように整備できるか等、課題は山積です。教室が足りない事もあって、生徒たちは半日を学校で過ごし、半日は家計のために働くと聞いています。カンボジアで出会った生徒たちは皆眞面目で楽しそうな健康的な目をしていました。LCIと私たちLCの各メンバーの努力で、学ぶことが当たり前な暮らしにしたいと願っています。

次に『マイクラブ・マイプラン』ですが、クラブのアクティビティの活性化とリーダーシップ力の増進を狙つたプランでした。理解ができるくかったクラブもあつたかもしれません。しかし私が数年前から考えておりました企画でしたので、会員の皆さまからのプランが立派に出揃つた時は、本当に嬉しかったです。来期も新しいプランでクラブ内活性化を目指していただきたいものです。そんな中からニューリーダー育成研



究会を立ち上げました。ニューリーダーとして必要なスキルを学んでいたくものです。たくさんのスキルを自分のものにすることが重要です。そして様々な立場からキャビネット構成員等として働く意欲を持つていただきたいのです。反対に経験豊かなライオンは彼らの学んでいく様子を応援し、助言して欲しいのです。これは333-C地区の繁栄のためと思つております。

残念なこともあります。クラブの消滅と支部の解散です。憂うべきはこの事実だけではなく、ライオングループライフに楽しみを感じられなくなつたメンバーがおいでだつたことです。メンバーとして自信を持つてクラブ内で活動できるか、それを認めてもらえるかどうかなのです。青少年と同様に私たちにもライオンズクラブプログラムの習得が必要になってきました。ニューリーダー育成のプログラムに入れなければなりません。

私たちは経験から色々なことを学んでいきます。だから経験豊富な方々の物事への洞察力に若輩者は兜を脱ぎます。さあ皆さま、自分はどちらのエリアに入ると思われますか。ライオンズクラブ活動の良いと

ころはここにあります。高齢者も青年も年齢に関係なく同じクラス・同級生なのです。お互いに知恵を分かち合い、学び合うことに遠慮はいりません。ライオンズクラブライフの中で、良き友を得ることを信条にし、無心で奉仕活動ができますことを祈らざるを得ません。退会防止は「何事にも遠慮せず、仲良くできるか」というところに着目しなければならないでしょう。

以上ご報告いたしましたが、私の地区運営は会員の皆さま、キャビネット構成員等の皆さま方に支えられてのものでした。一人では何も事が運ばないということです。多方面のご協力に心からの感謝を申し上げます。

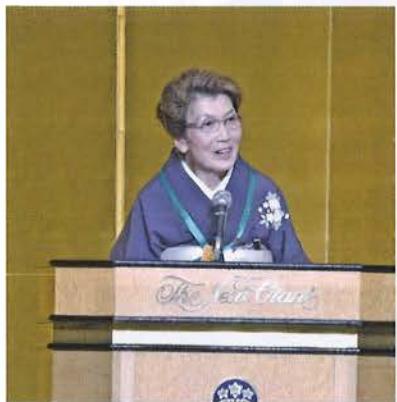
最後にカナダ、トロント国際大会でガバナー就任から付き添つていただいた前地区ガバナーL正木 守、ガバナーチームの皆さま、地区名譽顧問の皆さま、そして内局、年次大會委員会の方々に多大なご支援をいただきましたことに改めて御礼を申し上げます。

333-C地区がもっと繁栄しますように、次期キャビネットが素晴らしい成果を上げられますように祈りつつ：ありがとうございました。

地区年次大会前夜祭

地区年次大会事務局次長

L 阿佐幸雄



前夜祭で挨拶される波木ガバナー



乾杯の発声は正木前ガバナー



後藤元国際理事のご挨拶



山村年次大会委員長の開会挨拶



今年の前夜祭は、肩ひじの張らない、心がウキウキする音楽のなかで、美味しい食事を楽しんでもらおうとのコンセプトで企画しました。

会場のホテルニューオータニ幕張の料理は定評を得ていますので、安心していましたが、年次大会委員の試食でも高評価を得ましたので、ほっと胸をなでおろしました。

もう一つの課題である音楽は、いくつか候補に挙がった中から、担当の副委員長と共に、ライブ演奏を見て、最終的にカントリーエンターテイメントの「テキサス・ラングラーーズ」に決定いたしました。

演奏曲目も気軽に踊れるような曲目を選びましたが、会場が狭くて踊るスペースが取れず、企画意図と違つたものになってしまい、期待されていた方には、申し訳なく思いました。

狭い会場でしたが、草月流師範会理事の船橋LCの内山敦子が波木ガバナーへのお祝いに、スタッフと共に時間のないなかで、お花を活けていただきました。ひときわ美しく映えていました。お花は翌日も会場を美しく彩ってくれました。

2時間があつという間に過ぎ、名残惜しげに「また会う日まで」を歌い、翌日の年次大会での再会を約して帰路に着きました。





地区年次大会代議員総会

前夜祭の翌日19日当日は、代議員総会から始まりました。

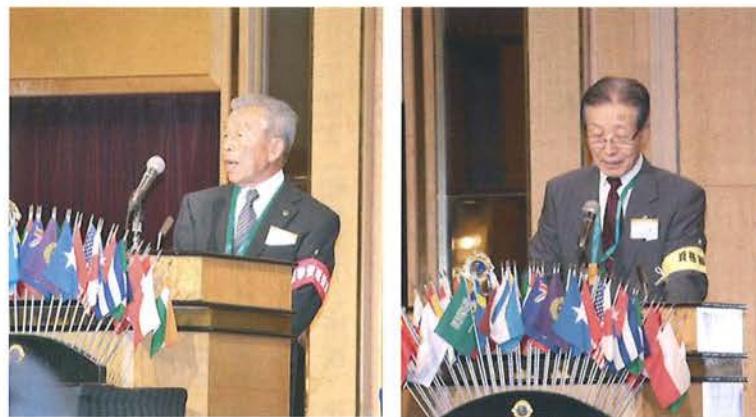
年次大会の代議員は各クラブの会員数により割り当てられており、ガバナーの選出から会費についてなど、様々な地区運営について各クラブの意見を投票行動によって反映できる数少ない機会なのです。

ちなみに今回登録された代議員は320名で、当日受付を済ませた出席代議員は277名です。

総会は波木ガバナーのゴングにより始まり、高橋輝男資格審査委員長と大西榮利選挙管理副委員長より適正であった旨の報告があり、波木ガバナーが議長となつて議事に進みました。議案は、ガバナー提出による次の11議案でした。

- 1 次期地区ガバナー選出の件
- 2 次期第一副地区ガバナー選出の件
- 3 次期第二副地区ガバナー選出の件
- 4 次年度地区会費の件
- 5 前年会計報告及び会計監査報告承認の件





大西榮利選舉管理副委員長

高橋輝男資格審査委員長

- 6 本年度中間会計報告及び会計監査報告承認の件
- 7 地区奉仕活動支援資金規則改定の件
- 8 地区緊急災害対策本部規則改定の件
- 9 2015-2017年度国際理事候補者について
- 10 2015-2017年度国際理事候補者について
- 11 2020年東京オリンピック・パラリンピックへの協力の件

これらのうち、1～3については、各職とも候補者は1名なので、信任投票です。結果、次期地区ガバナーにはL・吉原稔貴が選出され、次期第一副地区ガバナーにはL・松本宰史を選出。次期第二副地区ガバナーにはL・高橋克文が選出されました。

この時をもって、それぞれがガバナーエレクトと呼ばれるようになります。

残りの議案は、全てキャビネット会議に付され、了承を得た上で年次大会にかけられていますし、各ゾーンチエアパーソンは、それぞれの議案をガバナー諮問委員会でゾーンの各クラブに説明しているため、原案通り可決されました。

そして、最後に選出された地区ガバナーエレクト並びに第一・第二副地区ガバナーエレクトの紹介が壇上で行われ、全ての議案が可決されたことを確認し、波木ガバナーのゴングをもって閉会となりました。





原案通り承認可決

東京オリンピック・パラリンピックへの協力の件
（家族子会員・ファミリー会員は含まず。）
333複合地区年次大会承認可決後実施。

－B地区 旭川東ライオンズクラブ所属 L安井克之が2015－2017年度国際理事候補者として立候補することになった。

原案通り承認可決

第10号議案 2015－2017年度国際理事候補者について

第61回年次大会において、
337－B地区 大分ライオンズクラブ所属 L佐藤宜之が2015－2017年度国際理事候補者として立候補することになった。

原案通り承認可決

第11号議案 2020年東京オリンピック・パラリンピックへの協力の件

東京オリンピック・パラリンピックの協力金を2015年7月～2020年6月の間で1人当たり5,000円（年間1,000円×5回）の拠出をお願いしたい。



年次大会実行委員会報告

実行委員会事務局長

L 吉川敏男

第61回年次大会から2ヶ月が経過しました。

事故もなく終えた安堵感も、多少の心残りも薄れて「報告書」の形を借りて、実行委員会事務局がどのように考え運営したかを書きます。

年次大会実行委員会が、正式に動き出す時点での日程、会場は勿論、記

車場の案内、記念バッヂの販売、昼間の制約を考慮すると、式典受付、会場設備、台数不足が予想される駐車場の案内、

6R12クラブ会長と実行委員会事務局、合わせて総勢16名で運営していくことになるわけでしたが、会場の規模と時間の制約を考慮すると、式典で多くの会員が途中退席する実情について、防止策の意見交換から、式典時間の短縮、セレモニーの淀みない流れ、映像・音響・照明等参加者を飽きさせない演出や進行が必要であるなど

第1回の会議では、過去の式典で多くの会員が途中退席する実情について、防止策の意見交換から、式典時間の短縮、セレモニーの淀みない流れ、映像・音響・照明等参加者を飽きさせない演出や進行が必要であるなど

これを踏まえ、事務局として運営作業の内容、規模(数量)を明示し、各クラブの当日分担を先に決定発表、併せて式典に向って企画グループを作り、担当分野のグループ内の検討を始めることとし、以降、毎月1回実行委員会を開催することを決めました。

第2回からは、不明点の質問や作業分担の当日式典分担との乖離の是正案など、多くの意見が出て進むべき方向への始まりを感じました。

第3回までに会場を視察したいとの要望もあり、ホテルニューオータニ幕張での視察会の開催を組み込み

食準備などを含めて、70～80名のスタッフが必要と考えられ、殆どの委員会役員が、当日1日中スタッフとなってしまいます。色々な制約の中で、スムーズな運営はこれでは不可能と事務局の意見は纏まり、各副委員長(クラブ会長)にお願いして実行委員を2～3名任命して貰い、12クラブ総勢40名の委員会を立ち上げ、

昨年の9月8日に第1回実行委員会を開催することができました。

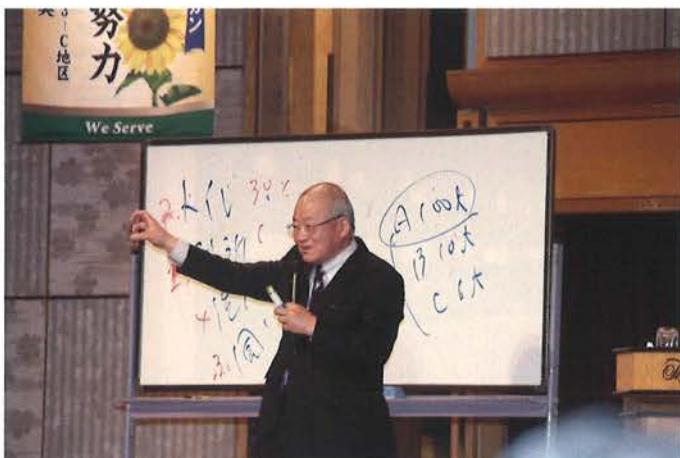
第1回の会議では、過去の式典で多くの会員が途中退席する実情について、防止策の意見交換から、式典時間の短縮、セレモニーの淀みない流れ、映像・音響・照明等参加者を飽きさせない演出や進行が必要であるなど

これを踏まえ、事務局として運営作業の内容、規模(数量)を明示し、各クラブの当日分担を先に決定発表、併せて式典に向って企画グループを作り、担当分野のグループ内の検討を始めることとし、以降、毎月1回実行委員会を開催することを決めました。



年次大会 記念講演会

マー兄ちゃんのやさしい環境講座



ました。

第4回以降は、各企画グループの話し合いの進化が進み、具体的な実行案が上げられ、それぞれの連携を紡ぐ仕事が事務局の役割になり、委員会も都合8回開催しました。

自分たちの年次大会としての意識の盛り上がりには、「上意下達」はダメであり、実行委員会全体で考え、チームとして機能することが、80名からのスタッフが効率よく働け、またホテルスタッフとの連携が生まれる要素であると事務局は考え、準備を進めました。

当日は、懸念された昼食時の混乱や駐車場スペースのクレームも無く、式典は終了時間にピタリとおさまり、各クラブ会長主導による会員スタッフの協力と、実行委員の活躍があり、本当に素晴らしいチームワークが作れたと思います。

いつの日か、もう一度このチームで年次大会をやりたい、と思うほど素晴らしい大会を催せました。

ご協力いただいた6R12クラブの全てのライオンに、心よりの感謝を申し上げます。

年次大会 オープニングミニコンサート

千葉県立幕張総合高等学校合唱団



指揮：
千葉県立幕張総合高等学校
山宮篤子先生

【ゾーン最優秀賞】

- ◆ 12R.. 上総一宮LC
- ◆ 市川北LC (1Z)
- ◆ 浦安中央LC (2Z)
- ◆ 松戸中央LC (1Z)
- ◆ 野田LC (2Z)
- ◆ 柏leinボーエLC (1Z)
- ◆ 柏中央LC (2Z)
- ◆ 船橋LC (1Z)
- ◆ 船橋京葉LC (2Z)
- ◆ 鎌ヶ谷飛翔LC (1Z)
- ◆ 八千代LC (2Z)
- ◆ 千葉花見川LC (1Z)
- ◆ 市原コスモスLC (1Z)
- ◆ 成田グリーンLC (1Z)



地区ガバナーアワード

【地区ガバナー大賞】

◆ 千葉ゆうきのLC会長

【重点目標達成賞】

- ◆ 房総勝浦LC (マイクラブ・マイプラン)
- ◆ 千葉ゆうきのLC (退会防止・会員増強)
- ◆ 千葉ゆうきのLC (研修会)
- ◆ 君津LC (青少年育成)
- ◆ 海上LC (LCIF)

【新入会員スポンサー賞】

4人以上増員

- ◆ L松丸 隆 (市川東LC)
- ◆ L徳岡めぐみ (市川バイシングリーLC)
- ◆ L蓮見 玲子 (市川バイシングリーLC)

【地区ガバナークラブリーダー賞】

- ◆ 浦安LC会長 L吉田賢太郎
- ◆ 船橋翼LC会長 L矢野 憲一

【地区PRIDE賞】

- ◆ 東金LC

- ◆ 佐倉LC (2Z)
- ◆ 四街道中央LC (3Z)
- ◆ 光LC (2Z)
- ◆ 飯岡LC (3Z)
- ◆ 木更津LC (1Z)
- ◆ 君津LC (2Z)
- ◆ 館山LC (1Z)
- ◆ 夷隅LC (2Z)
- ◆ 茂原LC (1Z)
- ◆ 九十九里LC (2Z)

- ◆ L内田 千尋 (浦安LC)
- ◆ L金子 康行 (浦安LC)
- ◆ L中野 正 (行徳リバーサイドLC)
- ◆ L谷島 重夫 (行徳リバーサイドLC)
- ◆ L浮谷 俊行 (松戸LC)
- ◆ L室橋 惠皓 (松戸LC)
- ◆ L鈴木 辰之 (松戸東LC)
- ◆ L木村 英俊 (柏さくらLC)
- ◆ L望月 桜華 (柏leinボーエLC)
- ◆ L大貫 秀一 (船橋LC)
- ◆ L小西 宗仁 (船橋LC)
- ◆ L林 清人 (船橋翼LC)
- ◆ L渡邊 憲一 (船橋翼LC)
- ◆ L矢野 弘彦 (船橋翼LC)
- ◆ L太田 豊久 (船橋翼LC)
- ◆ L松崎 総一 (船橋翼LC)
- ◆ L山鹿 浩 (船橋翼LC)
- ◆ L高橋 克文 (船橋翼LC)
- ◆ L伊藤 重人 (船橋翼LC)
- ◆ L花澤 俊介 (千葉中央LC)
- ◆ L黒川 利夫 (千葉ポートLC)
- ◆ L岩本 朝子 (千葉ゆうきのLC)
- ◆ L高山 直美 (千葉ゆうきのLC)
- ◆ L橋爪 雅子 (千葉ゆうきのLC)
- ◆ L宮城 尚美 (市原かづさLC)
- ◆ L小高左起子 (房総勝浦LC)

- ◆ 千葉ゆうきのLC会長 L中村 洋子
- ◆ 海上LC会長 L木内 欽市
- ◆ 君津LC会長 L保坂 敏彰
- ◆ 房総勝浦LC会長 L小高佐起子

【地区ガバナー特別賞】(ライオ

ン歴50年以上)

- ◆ L畠本 昌介 (市川LC)
- ◆ L倉田 寛之 (松戸LC)
- ◆ L斎藤 貞雄 (船橋LC)
- ◆ L青柳 安彦 (千葉LC)
- ◆ L桑田 昭 (千葉中央LC)
- ◆ L白井 一世 (千葉LC)
- ◆ L江畑 吉昭 (市原LC)
- ◆ L安藤 英夫 (銚子LC)
- ◆ L平山真佐雄 (佐原LC)
- ◆ L林 初男 (八日市場LC)
- ◆ L上山 立男 (館山LC)
- ◆ L秋場 寛 (上総一宮LC)

【優秀レオクラブ賞】

- ◆ 銚子中央レオクラブ
- ◆ 横の木レオクラブ

【最優秀レオクラブ賞】

- ◆ 君津レオクラブ

伝えよう 子供達に!

ライオンズクラブが世界中で普及に取り組む
児童・生徒のためのライフスキル教育プログラム

第2回ライオンズクエスト・フォーラム 全国大会

佐野ブランドキャラクター
さのまる



とき 2015年8月22日(土)・23日(日)

ところ 佐野日本大学中等教育学校
ホテルサンルート佐野
(栃木県佐野市)



一人でも多くの先生方に
クエストプログラムへの参加を



大会スケジュール (2015年)

8月22日(土)

- 11:00~13:00 受付：佐野日本大学中等教育学校
- 13:00~13:30 開会式
- 13:45~15:00 ライオンズクエスト体験発表 (普及活動編)
・質疑応答
- 15:20~16:20 実践校公開授業
- 16:40~17:40 公開授業担当教諭との意見交換
- 18:30~ 懇親会 (会場：ホテルサンルート佐野)

8月23日(日)

- 8:00~ 8:20 受付：ホテルサンルート佐野
- 8:20~ 9:00 ライオンズクエスト体験発表 (学校導入編)
- 9:15~10:45 グループによる意見交換会
- 11:00~11:30 閉会式
- 11:30~17:00 エキスカーション(日光)



主催：ライオンズクラブ国際協会 333-B/C 地区

協賛：NPO法人 青少年育成支援フォーラム (JIYD)・佐野日本大学中等教育学校

後援：ライオンズクラブ国際協会 333-B/C 地区・各ライオンズクラブ

栃木県教育委員会・千葉県教育委員会・佐野市・佐野市教育委員会

長時間にわたり、真剣かつ熱心に討議



地区献血・献眼・臓器移植推進
委員長

L 水野 武明

3月14日(土)、千葉県経営者会館において地区主催の「献血・献眼・臓器移植推進研究会」が開催されました。

黒川利夫キャビネット幹事より参加者へのお礼の言葉とともに実りある研究会になることを願い、開会。続いて、波木奏美地区ガバナーから次のような挨拶がありました。

「スローガン『温かいまなざし、高い理想と地道な努力』のもとここまで進めてまいりましたが、これが本年度の最後の研修会となります。今回、臓器移植についてお話を聞いていただきます。地区として初めての企画です。臓器移植について初步的なことを知つていただければと思います。次いで献血時にお配りする『鉄分補給MENU』を作成しました。それによる食事とスマージーを用意しましたので、その試飲食と説明を行います。お楽しみ下さい」

特別講演は、独立行政法人国立病院

機構千葉東病院のレシピエント移植について」。6才未満の子の脳死による移植の基礎知識と現状及び登録に提供の状況などから話されました。

ドナーの種類として生体間移植・脳死・心肺停止があり、移植できな

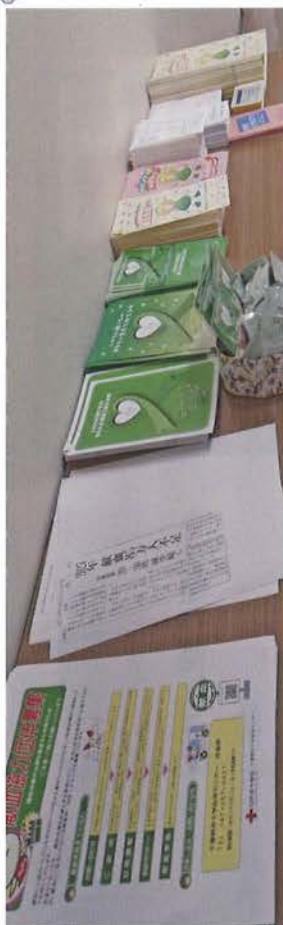
いのは、活動性感染症・HIV・B型肝炎・悪性腫瘍(がん)等のこと。

米国は日本に比べ7倍の実績があり、日本は法・文化・思考・制度の関係で少いそうです。日本には日本臓器移植ネットワークがあり、臓器の部位によるチーム（日本各地から集まる）があつてヘリコプターで自病院に持ち帰つて移植を行つていること。

ドナー登録は、日本臓器移植ネットワークのホームページからや、「臓器提供意思表示カード」（家族に話しておく）への記入による方法などがあります。

腎臓移植の日数について質問もあり、検査入院1週間、術後入院1ヶ月間位要すると説明がありました。皆、真剣な眼差しで聴講され、多くの質問があつて時間がオーバーするほどでした。

献眼登録及び提供者への対応と手続きについては、県アイバンク協会



常務理事し内田千尋より献眼ファイルの資料に基づいた説明があり、その一例として電話による模擬実演が行われました。

献眼推進活動の事例発表は、実績のある干渴LCのL花香完治より、会員40名で64名の登録があり、一人2名をお願いしていること。そして、2件の提供実績があり、8年前、72才のメンバー（男性）が腎臓病で入院した時、献眼カードを持参していたのを家族が見つけ連絡。他の臓器もと申し出があつたが臓器はできなく皮膚を提供されたというお話しがありました。ご家族からのメッセージとして「献眼して大変良かった。家族として誇りに思つていい」という気持ちも伝えられました。

次いで、当委員会のL平野陽一より、先月末に亡くなられたお母様の献眼提供について、献眼登録をされていなかつたがお母様の地域での奉仕活動を考えて、家族と話をして提供することにした経緯と思いを話されました。二つのケースにおける家族の思いを拝聴し、全員感激の様子でした。

時間超過で小休憩したあと、直ちに鉄分補給MENUレシピによる試食・試飲をしながら、野菜ソムリエ鈴木淑子様からレシピの説明をお聞きしました。参加者との会話もありました。研

究会での試食・試飲の提案は、ガバナーです。配食も率先して行われ「食べてみなければ、人に勧められない」と考えてのことでした。

献眼推進活動の事例発表は、実績のある干渴LCのL花香完治より、会員40名で64名の登録があり、一人2名をお願いしていること。そして、2件の提供実績があり、8年前、72才のメンバー（男性）が腎臓病で入院した時、献眼カードを持参していたのを家族が見つけ連絡。他の臓器もと申し出があつたが臓器はできなく皮膚を提供されたというお話しがありました。ご家族からのメッセージとして「献眼して大変良かった。家族として誇りに思つていい」という気持ちも伝えられました。

次いで、途中カットした「献眼推進活動をするには」のグループ討議・発表は、アンケートによる回答と話し合いにより各自の意見・提案を書いていただきました。

また、「献血推進活動をするには」については、前々期の当委員長し木村英俊にグループ討議をリードしていただき、各自の意見・提案を書いていただきました。両件については、次頁以降に記載してあります。日頃から皆様が心がけておられる様子が伺えました。今後の活動に非常に役立つ事項が沢山ありますので、ぜひクラブにおいて分析し、話し合ってください。

まとめとして私から、お配りした献眼ファイル（アイチャンファイル）の活用方法と献血奉仕活動時に配布する鉄分補給レシピの活用について説明と今後のお願いをしました。その後に、キヤビネット会計し福島真知世より、長時間わたらる熱心な研究会であったことのお礼の言葉で閉会しました。

参加者の意見及びアンケート

◆ 藏器移植について

(献眼と共通意見含む)



- ・ 藏器移植の日本の現状の厳しさがよく分かった
- ・ 献眼・藏器移植には、もっとPRが必要
- ・ 献眼・藏器移植は日本人には、宗教等々難しい面が多い
- ・ 献眼・藏器移植には日本人には、宗Rが必要

◆ 献眼推進活動をするすめるには

(グループ討議での発言)

[Eグループ]

- ・ 献眼・藏器移植には、もっとPRが必要
- ・ 献眼・藏器移植は日本人には、宗教等々難しい面が多い
- ・ 既提供者の実体験を伝承し、広めよう
- ・ 献眼についての知識が広がり協力したいと思った
- ・ 献眼の話を本日聞きましたので、今後クラブで話し合います
- ・ 献眼は6時間以内であることを周知しよう
- ・ 献眼に対する知識を広めることです

[Fグループ]

- ・ クラブ員全員登録を目指す
- ・ 自分は、まだ登録していない。

[Gグループ]

- ・ 一般の登録推進のために地域のイベントにベースを借り上げ、提供をお願いする

- ・ 生前に本人の意思を家族が確認しておくこと
- ・ 対象者は高齢でもOKだということを宣伝すべき
- ・ 献眼の際の手続きをクラブで確認しておくこと
- ・ 若い人を含め長期的な対応で広めざるを得ないでしょう
- ・ まずは「献眼に登録」を増やそう
- ・ ライオンズメンバー及び家族が率先して広める
- ・ 献眼に登録を公表しよう
- ・ 家族・親族に理解と協力を
- ・ 献眼登録を家族で常時確認する
- ・ 各クラブでまとめてキャビネットへ発信するように
- ・ 本日の事例をもつて発表して、討議してはどうか
- ・ 各クラブにて活動状況をキャビネットより発信するように
- ・ 本日の研究会大変良かったですね。献眼に対して知識が広がりました。私も協力したいと思いました

- ・ 献眼したいと思っていたら、現在、緑内障になつてしまい残念ことを宣伝すべき
- ・ 白内障の人も大丈夫でしょうか
- ・ 平素、家族と話し合つておくこと、緊急時にあわてず済むように手続きをする
- ・ 献眼登録の必要性は、充分感じていますが、手続きの簡素化を図つて欲しい
- ・ 献眼登録をしたら、家族・身内にその旨を伝え、日頃からその話題で話し合うことが大切だと思います
- ・ 2013年4月CN5周年記念の際、ほぼ全員が献眼登録を行いました (市原さくらLC家族共30名)
- ・ 献眼については、幸いにも身近に眼の悪い人がいないので、今まで考えたことがありませんでした。これを機に考えたい思います



- ・家族等メスを入れることに抵抗があるて実際その時実施できるか
- ・一般には、献眼に対する理解がないので、人の助けになることを、小学校より学校教育にて行つていくことが重要
- ・自宅で亡くなつた場合、警察等検視などで時間がすぎてしまうのでは？
- ・献眼に対する意識や理解を小学校から学校教育にて行う
- ・今後もう少し登録者を増やす努力が必要
- ・登録だけでなく実例につながると励みになる
- ・家族、兄弟の理解を得ておく。親戚へは献眼について自然に説明しておく
- ・献眼に関しては、日頃の家族内での話し合いが大切だと思います
- ・提供に携わったことがない大事さが分かった
- ・クラブアクティビティキャンペーン、会報等で啓発
- ・家族との話し合い、理解を生前



- ◆ 献眼推進に関するアンケート
- A・B・C・Dグループ
(回答39名)
- 現在自クラブの登録状況は？登録名簿は？
- | | |
|----------|----|
| ある | 28 |
| ある | 28 |
| ない | 1 |
| 正会員全員登録済 | 1 |
| 分からぬ | 10 |
| たか | 1 |
| 入会時 | 2 |
| 全員 | 4 |
| CN記念 | 7 |
| 個人の意思 | 24 |
- 登録は、どのようにすすめてきましたか
- | | |
|-----------------------|----|
| 例会の時に状況を話したことはある | 28 |
| 例会（クラブ）で話し合う | 2 |
| 献眼の意義を広く伝えることが大切 | 5 |
| 家族で | 4 |
| クラブ員に登録を勧める | 1 |
| 話し合う | 1 |
| 推進研修を増やす | 1 |
| 研修等で定期的に現状を踏まえて学ぶ | 1 |
| 医療機関との問題はないのか？ | 1 |
| 社会貢献の一貫として広められると考えている | 1 |
| 従来通りで良い | 1 |
| ゆっくり、時間をかけて啓蒙する | 1 |
| チラシを配る | 1 |
| クラブメンバー及び関係者に願う | 1 |

- 一般登録は、どのようにすすめていますか
- | | |
|---------------------------------|----|
| 知人等、事ある時に登録するよう勧める | 22 |
| 紹介 | 5 |
| 街頭で | 5 |
| なし | 4 |
| 献血時 | 2 |
| 登録方法がわからない | 5 |
| 信者に登録のPR済、他3教会（カトリック教会を含む）にもPR済 | 1 |
| 喜びの声を発表する（学校等）で討論する | 30 |
| 献血時に啓発活動ができれば | 3 |
| 死後6時間以内であることの周知を徹底しよう | 1 |
| クラブでやつてます | 1 |
| 死後6時間以内であることの周知を徹底しよう | 1 |

- ◆ 提供に關し、どのようにしたら良いですか
- | | |
|---|---|
| 会員が理解することから始めたい | 1 |
| アイちゃん等キャラクターを作り、啓蒙活動をして「グリーンずきん」PRはいかがでしょうか | 1 |
| 人に話をしていく | 1 |
| 本人の意思に任せせる | 1 |
| よくわからない | 1 |
| どの医療機関でも同様にする | 1 |
| P.R活動 | 1 |
| 法を変える | 1 |
| 前例がないのでわからない | 1 |
| クラブ内で年間1回位は本人と家族で確認 | 1 |



- ・献血カードを携帯し自分の意思を明確にする

◆献血推進活動をするためには

(意見交換)

- ・献血の年齢を70才位までにした
らと思います
- ・16歳になつたら献血を
どうでしようか
- ・献血可能な年齢を引き下げたら
定期的に献血を
- ・献血運動に協力していますが、
若い人の参加が少ない
- ・献血の実施に当たりPR活動を
きちんとやること
- ・献血の機会を多くして、多くの
人に献血をするチャンスをつく
る
- ・献血キャンペーン、午後は午前
に比し時間が長く参加者が少な
くなる
- ・献血の呼びかけをしても街中も
高齢者が多く、なかなか難しく
なっています。
- ・献血の街頭呼びかけをして感じ
ることですが、若い方に学校を
通してもう少しアピールができ
ないか
- ・献血の年齢を70才位までにした
らと思います

[Eグルーピ]

- ・献血運動に協力していますが、
若い人の参加が少ない
- ・献血の実施に当たりPR活動を
きちんとやること
- ・献血の機会を多くして、多くの
人に献血をするチャンスをつく
る
- ・献血キャンペーン、午後は午前
に比し時間が長く参加者が少な
くなる
- ・献血の呼びかけをしても街中も
高齢者が多く、なかなか難しく
なっています。
- ・献血の街頭呼びかけをして感じ
ることですが、若い方に学校を
通してもう少しアピールができ
ないか
- ・献血の年齢を70才位までにした
らと思います

その他

- ・このことについて家族でよく話
し合いをする
- ・サポートの確認が必要
- ・提供者の実体験の伝承を広めよ
う
- ・メンバー同志の意思を普段から
知つておく
- ・皮膚提供についてですが、身体
のどの部分ですか？
- ・白内障の人も大丈夫？
- ・研究内容が盛りだくさんで時間
配分が悪い
- ・休憩時間を設けて欲しい
- ・今期のキャビネットの方々の一
生懸命さが伝わりありがたいで
す
- ・この勉強会には3～4回参加し
ています。様々な形で「啓蒙」し
たいと思つております

[Fグルーピ]

- ・献血に役立てる、鉄分レシピは
とても良かつた
- ・本日の研究会は、有意義でし
た。有難う！感謝！
- ・献血に役立てる、鉄分レシピは
とても良かつた
- ・学校教育での献血の重要性、若
い人達の意識を高めて欲しい

[Gグルーピ]

- ・若い人们にもっと声がけ依頼する
ようになる
- ・街頭でのPRも若手の無関心さ
が目立つ
- ・献血もどうしたら若い人にPR
するか悩ましいです



- 逆に65、70才以上の人々の関心が高い。育つ時代の差?
- 献血する場所、時間等工夫する必要がある。
- 小額であるが記念品を配布している
- 献血の時間短縮できないか、受け付けに時間を要する(待時間)
- 年齢引き上げ
- 献血量に応じて渡すカロリーメートルに釣られて参加した
- 大多喜地域の献血は良くできていると思う(夷隅LC)
- 行政の防犯無線で広報しているクラブがあります。
- 若者の意識を高めるためにキャラクター導入・動画配信
- キャラクター(新しいものでも良いのでは)・スマホ等の動画利用
- 日赤からの葉書での案内、非常に効果あり
- 担当委員に参加の由有無の確認をとれなかつた(反省)

◆献血推進活動をするためには

(回収の段階で、グループ名不詳)

- 鉄分補給のレシピ良かったですね
- 街頭で声掛けしていますが、あまり興味がないのか、ティッシュだけもらって帰る人が多いと思いますが、献血ルームにはたくさん的人が協力しています。街頭での反応もあるとよいです
- 学校の道徳活動が近年増えているので機会を増やした方が、まだその年齢になるまえに!知らせること
- 薬物乱用防止教室開講の際3ヶ月献血の重要性と大きくなつたら進んで協力するようにならせて
- 日本赤十字社が若者の職場に出向いて献血予約をしてもらうことは一番よい(夷隅LC)
- 1つの団体で活動は少ないのでまとまって活動する
- 若い方の意思、気力を高める
- 希望しても検査で不適合(前日の歯科治療もNG)、ハードルを少し下げては
- 私は都内在住ですが、キャンペーン活動を目にすることが以前に比べ少ないよう思います
- 駅前での献血活動をしていますが感心のない人が多いが、どうしたらよいか分からん
- メンバーの知人・友人・社員・関連企業の社員など前もって協力を呼びかけて効果を上げてい
- 本日の料理を参考にして、鉄分補給のメニューをすばやくできるおかずを作つていただきたいと思いました
- 昼休みに生徒が集まるので、昼休み休憩を交替(日赤側)にしてはどうでしょうか
- 献血してくれた人に、お礼の意味で差し上げる物品をもう少し良い物を差し上げたらよいと思う
- 献血は、クラブの皆が年配になつてきていますので各クラブが合同で実施する等協力していきたい
- 船橋市ららぽーとにて、献血バス協力しています。年2回、日本赤の方々が若者の職場に出向いて献血予約をしてもらうことは、その必然性が伝わりにくいことにあると思います
- 献血を進めるにあたって、若い私達の若い頃に比べ、若い方の関心が薄いように思います。若い人達にもっと関心を持つて頂くにはどうすればよいか
- 私は都内在住ですが、キャンペーン活動を目にすることが以前に比べ少ないよう思います
- 駅前での献血活動をしていますが感心のない人が多いが、どうしたらよいか分からん
- メンバーの知人・友人・社員・関連企業の社員など前もって協力を呼びかけて効果を上げてい
- 上総一ノ宮LCでは、町村役場の主催で年間12回実施している(陸沢・長生・一宮)ポスターを1ヶ月前から進めている
- 献血を進めるにあたって、若い20代の方々がやりたがらないのは、その必然性が伝わりにくいことにあると思います
- 今、スマホのアプリが活用されているのを利用して、献血をする人とポイントが貯まり何かが返つてくるような物があるとよいのでは? 細かい文字の冊子は見向きもしません。アプリでダウンロードしてもらい、個人で読んでもらうようにすれば経費削減になつてよいと思いま
- てもよいのか
- 若い人達を取り込むにはどうしたらよいのでしょうか。これらの課題ですが、例として近所の大学生の話ー献血後ジュースなど頂きますが、もつとご飯定食(ミニ)を提供して欲しいと言つてました
- 上総一ノ宮LCでは、町村役場の主催で年間12回実施している(陸沢・長生・一宮)ポスターを1ヶ月前から進めている
- 献血を進めるにあたって、若い20代の方々がやりたがらないのは、その必然性が伝わりにくいことにあると思います
- 今、スマホのアプリが活用されているのを利用して、献血をする人とポイントが貯まり何かが返つてくるような物があるとよいのでは? 細かい文字の冊子は見向きもしません。アプリでダウンロードしてもらい、個人で読んでもらうようにすれば経費削減になつてよいと思いま

言葉のカゲを越え、ケーキ作りで親睦を深める

2015
3/19~22

地区青少年育成・レオ
委員長

L植草博信

今年度のレオ海外研修会はレオクラブメンバー15名とスピーチコンテスト優勝者の1名が参加して台湾で行われた。

飛行時間は約4時間で桃園国際空港に到着。現地時間に合わせ、時計の針を1時間遅らせる。

そのまま台北市に移動し、高さ508mと世界5位の高さを誇る台北101ビルを見学する。

展望台まで速さ時速60キロの世界最速クラスのエレベータに乗る。このエレベーターは日本製だそうで、至るところに日本の技術が生かされており、耐震工事も日本建築会社が施したとのこと。展望台からの眺めは、

中国の大気汚染の影響か視界が悪く、霞んでよく見えなかつたのが残念。

2日目は總統府の内部施設の研修見学。外観は赤レンガ造り。日本統治時代の総督府で、その建築形式はパロック様式5階建て。左右対称の建物で、第2次世界大戦における米軍の空襲により内部は全焼したが、戦後、再建されたよう。内部の見学は予約のみ、パスポート提示は必要で、研修会参加者のほとんどが初めての見学となつた。展示を通じて、建築、総督、總統にまつわる物語などが紹介されており、レオ達は皆、興味深げに熱心に説明を聞き、写真なども見て回つた。

午後は台北の東に位置する山あいの小さな町である九份に到着する。戦前は金鉱の町として栄え、日本統治時代に建てられた石造りの家がひつそりとたゞみ、昔をしのばせる。かつては人口十数人足らずの小さな村だったらしいが、1893年に金鉱が発見されてゴールドラッシュが沸き起り、やがて金鉱も底





を尽き、今は観光地として栄えている町。坂と階段が多く、足の悪い私は苦労してやっと坂を上がった。一步路地に足を踏み入れると土産物や食べ物屋などが並び、昔の台湾を彷彿させるような独特の強烈な香りを感じた。レオの子達もその異国の香りを印象深く感じたようだ。

3日目は正中記念堂を見学した後、いよいよ今回の研修会のメインである桃園大有ライオンズクラブのレオクラブとの交流会の予定。バスで向かう途中、偶然にも壮大なお寺を発見、まだ約束の時間まで余裕があり見学となる。

保障宮というそのお寺は屋根の装飾から内部の天井に至るまで全てにきめ細かい細工の彫刻が施され、三階建てでの吹き抜けの広さで、私達全員がその豪華絢爛さと美しさに圧倒される。そこで今回の研修会の安全祈願参拝をし、そこを後にして333G2区の桃園大有レオクラブとの交流会の会場となる私立觀音安心家園を訪問する。

身体のご不自由な方の施設となつており、入口で大勢のレオ達の歓迎を受けた。会場にはレオとの交流で



ケーキ作りの用意がしてあり、歓迎会が始まった。最初に国際獅子会300G2区、趙永源ガバナーから歓迎の挨拶があり、波木ガバナーの挨拶と続き、そして楽しい桃園大有レオとのケーキ作りが始まる。ケーキ作りしながらレオ同士の交流となるが、言葉で皆、戦苦闘しながら

親睦を深めているようだつた。皆もつと長い時間の交流をしたいようだつたが、桃園レオクラブはその後の予定があるとのことで帰りに全員で記念撮影となる。

その後は故宮博物院を見学。その日の夕食はレオも含め参加者全員のショートスピーチタイムとなりレオ達の今回の感想を聞く。レオとの交流で言葉が通じなく苦労したとか、来る前に予習してきたが、実際に来てみると空気からして全く違うとか、感想が述べられた。

4日目は帰りの桃園空港に向かう途中で龍山寺を見学して安堵の帰路となる。

今年度も私達が掲げる青少年健全育成の重要な事業の研修会である海外研修会の機会を与えてくださった波木ガバナーはじめレオ関係者並びにライオンズの皆さんに感謝申し上げます。レオの一人ひとりが何かを感じとり、今後どのように役立たせていくのかは、毎年、年度末に発行しておりますレオの活動報告に掲載されるレポートを見ていた

第4回キャビネット会議報告

2015年6月7日(日)カンデオ

ホテルズ千葉において、2014～
2015年度の第4回キャビネット
会議が開催された。

本期、国内唯一の女性地区カバナー
であるし波木奏美の有終の美を飾る
日であり、総勢150名のキャビネット
構成員等が一堂に集う最後のキャ
ビネット会議となつた。

波木地区ガバナーは、第1回キャ
ビネット会議においてガバナース
ローガン「温かいまなざし、高い理
想と地道な努力」のもと333-C
地区から参集した構成員が一つにな
れば地区活性化は勿論のこと発展も
望めると自信を示された。

地区ガバナー提出議案は、以下の
通りであり、審議結果は原案通り承
認可決となつた。

第1号議案 LCI-F四大交付金 助成申請書提出の件

ライオンズクラブエストの助成金を国
際本部のLCIFより頂くため、B
地区（栃木県）C地区（千葉県）合
同事業として85,000ドルの申

請をします。

地区負担金として25% (B/C地
区負担) の負担金が発生します。

ぜひとも2ヶ年計画のライオンズ
クラブ事業を以て成功に導きたい
と考えております。

今回のキャビネット会議は、今期
最終なので、ゾーン・チエアパーソ
ン報告、地区GMTコーディネーター
報告、各委員会委員長報告がそれぞ
れ行われ、閉会となつた。



ネパール大地震支援報告

第二副地区ガバナー
L 松本宰史

もし、あなたの住んでいる町が壊滅して、誰も助けてくれないなんて、あなたは信じますか？

世界の国に住んでいる人々も私達と同じ人間です。その同じ人間でありながら、見捨てられるかのように、残された人達だけで復興する、それも人力だけが頼りという想像しがたい現実に遭遇しました。

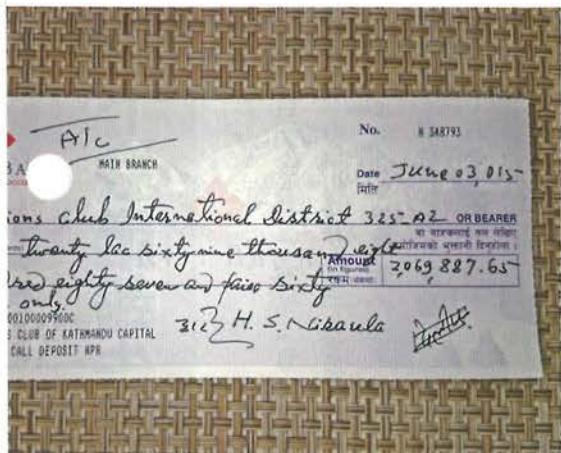
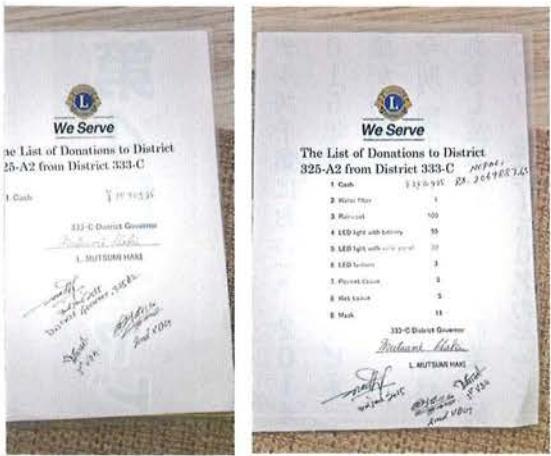
日本では、自治体やボランティアの人達が助けに来るでしょう。でも、日本と違い、国が貧しく政府からの援助に期待できないカトマンズ市内では、テント一つ与えられるだけで良い方であると聞かされました。市外に行くと更に事態は悪く、住む所もなく、テントすらありません。いつ倒れるか分からぬ部屋の隅で生活。それも叶わない人は、シートをかぶつて畠で寝ていると聞きます。

これから10月まで、雨期に入ります。テントの中は段ボール一枚やシートでしかなく、そのテントには家族6～7名前後で重なるようにして寝泊まりしています。当然豪雨が続けば……、それは想像できません。言葉で言い表せないほどの大きなショックを受けざるを得ませんでした。

私達の現地入りは、もうすでに一ヶ月以上経過している時でした。日本のニュースを見る限り、正常な生活に戻りつつあると報道されており、そのことからすると、我々は時運く、支援効果は薄いのではと想像していました。

しかし、そうした想像が完全に打ちのめされてしまいました。ここは日本ではない。その違いをイヤといふほどに知りました。

壊滅した街に入ると、ボランティアをする人も軍隊もいません。重機は街に1台の割り当て位しかなく、それもほとんど動いていません。動いているのは残された数十人の住民達で、素手で瓦礫の片付けをしています。この状態では何時この瓦礫が





片づけられることやら、想像すら出来ません。そのせいか若者も少なく、そのまま取り残されていく気がします。真に、こういう所にこそライオズの支援の価値があるようを感じました。

ネパール支援は、L林静誠地区ガバナー時代からの交流が有り、同期のLハリ地区ガバナーのリーダーシップにより、325-A2地区Lモドカー・ウパディヤ地区ガバナ率いるキャビネットのご協力により有意義な支援活動ができましたこと感謝を申し上げます

彼らもボランティアを被災直後から続けており、個人的に日本円にして、500万円ドネーションをした方もおり、さらに奥さんは1年の給料を学校再建への資金としたいと努力しています。そんなネパールのライオンズの人達は自ら身銭を切りながら頑張っています。でも、その気持ちを維持することは大変なことで、我々のように現地に行き、直接額を合わせて声援を送ることは、現地のライオンズ仲間に力を与え励ますことになり、今回皆様の温かい支援金を届けることが出来たことを心より感謝申し上げます。

※支援金は、
A2地区に2,530,425円
(2万ドル)、B1地区に50万円と、
その他物資5万円を届けました。
※地区災害支援センター口座入金額
118クラブ、3,510,233円、
他地区55,000円(6月5日現在)

写真撮影:Lネタラ・バハドゥル・タバ(浦安LC)

最後に、ネパール支援には、L波木奏美地区ガバナーを本部長として、地区緊急災害対策本部を設置し、地区緊急災害支援センター会議を3回開き、6月1日～5日まで、私はL波木奏美地区ガバナー名代として、L藤原宏高(船橋中央LC所属)と、ネパール人であるLネタラ・バハドゥル・タバ(浦安LC所属)の3名が333-C地区を代表して行くことを決定し、皆様から頂いた支援金を325-A2地区と325-B1地区(女性地区ガバナー)に、それぞれ贈呈式を開催し、333-C地区136クラブ3919名(4月末)の皆様の温かい気持ちを届けることが出来ましたことをご報告いたします。



ネパールの被災地を巡回して

船橋中央LC

L 藤原 宏高

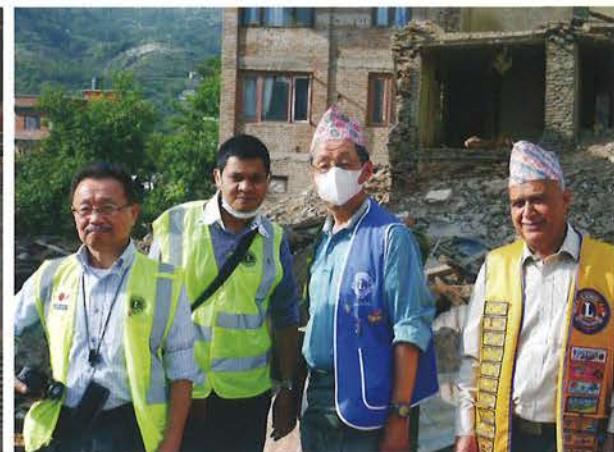
松本第一副地区ガバナーエレクト、浦安LC所属のネタラ・バハドゥール・タパルと3人でネパールの被災地を訪問して参りました。

333-C地区からの支援金及び支援物資を無事にネパール側に渡すことが出来ました。また、被災地の巡回では、巨大地震で崩壊した古都が

震災後一ヶ月を経ても全く瓦礫の処理さえ出来ていない現実を目の当たりにしました。しかし最終日では、テント村での被災者の生活を見て、驚愕せざるを得ませんでした。中国製のテントは多数見られたものの、中を見るとビニールシートも敷かれておらず、子供たちは地べたでボランティアが炊き出したカレー・ライスを食べていました。ネパールでは6月から雨期に入り、激しい雨が降るというのに、誰が彼らの面倒を見る

のでしょうか。撮影した被災者の様子を333-C地区の災害掲示板(Facebook)に英語で投稿させていた。世界中のライオンにこの現実を見ていただきたいのです。被災者に幸福あれ、と祈るとともに、我々ライオンの絶え間ない支援が必要であることを痛感した次第です。333-C地区のライオンの皆さん、ネパールへのご支援、本当にありがとうございました。





祖国ネパールの被災地支援に参加して

浦安LC

Lネタラ・バハドウール・タバ

私の祖国ネパールでは、大地震で

大勢の人が亡くなり、建物も倒壊して住む家もない子供たちの惨状に

大変心を痛めておりました。一刻も早く手助けをしたいとの思いで、クラブを通じて波木地区ガバナーに緊急支援の要請をお願いしましたところ、皆さまから心温まるご支援をいただき、被災地に支援に行くことが出来ました。皆様に心より感謝申し上げます。

6月2日～8日までネパールに滞在し、L松本、L藤原と共に被害の大きかったカトマンズに近いバッタプールを訪れ日本から持つて行つた支援物資を被災者に届けました。現地テレビ局の取材を受け、私たちの活動を知つてもらえたことは大変よかったです。



6月5日から私の兄の所属するボカラ市のライオンズクラブの17名と一緒に車で4時間かけてゴルカという村に支援物資を届け、大変喜ばれました。また、私に託された支援金は現地のガバナーと相談し、バッタプールの仮設住宅40戸分の建設に使うことになりました。



「逢おう！感じよう！つながろう！」

あ

地区青年アカデミー委員長

L 安見一美

2015年6月6日(土)東京浜松町の都立産業貿易センターにおいて、元国際会長のLウインクン・タムをお迎えし、全国35準地区から370名のライオンが集結しました。

「逢おう！感じよう！つながろう！」のテーマのもと、セッション①「百周年事業に向けて」4つの奉仕分野の中から具体的なアクティビティについてディスカッションしました。

セッション②では「次世代リーダーの育成」、いかにすれば育成が

出来るのかについて熱い意見交換がなされました。北は北海道から南は沖縄まで、入会間もないメンバーからベテランのライオンまで皆が交流を深め、笑顔いっぱいの1日となりました。

千葉からは60名を超えるメンバーに参加していただき、地区的活性化につながったのではないでしようか。最後にウインクン・タム元国際会長が若いメンバーに向けてこんなお話をされました。「出来ること、やるべきこと、自分が奉仕出来ることに対して積極的に取り組んで下さい。そうすることによって皆に認められるようになるでしょう」と。



8



8

ライオン誌フォローアップ企画

「全日本ライオンズ若手フォーラム」には、全国35の全ての地区から熱意と高い問題意識を持った皆さんのが集い、有意義なディスカッションが行われたものと大いに期待しております。

ライオン誌では、参加された皆さんのがディスカッションの内容をその後の自クラブの活動にどう生かされていくかをフォローアップし、このフォーラムの成果を確認してまいります。下記のフォローアップ企画に、皆様のご協力をよろしくお願いします。

『ライオン誌』日本語版 編集長 佐藤義則

▼フォーラムの成果を自クラブの活動に生かそう

第1セッションのテーマ「100周年に向けてつながろう」でディスカッションし、発表された「100周年記念奉仕チャレンジ」の企画案の中から、自クラブでぜひ取り組んでみたいアクティビティ企画を持ち帰り、提案してみましょう。

▼フォーラム後に実行した活動の報告にご協力ください

○クラブに戻って自分がどのように行動したか、クラブはどう反応したか、また実際にアクティビティが行われた場合はその活動リポートを、フェイスブックの「全日本ライオンズ若手フォーラム2015」で報告してください。フェイスブック・グループには参加者の他、地区ガバナー・チームや100周年記念コーディネーター、GLTコーディネーターなどが加わります。

○時期を見て（8月以降を予定）、参加者全員に対してフォーラム後の自身の活動に関するアンケートを行います。ライオン誌事務所からEメールでご連絡し、ライオン誌専用オンライン・フォームを使ったアンケートにご回答頂きます。

○今回のフォーラムをきっかけに、クラブで新しいアクティビティが企画、実行されることになった場合は、ライオン誌の記事として取り上げる場合があります。

※このフォローアップ企画について不明な点、またライオン誌への情報提供などがある場合は、ライオン誌日本語版事務所（Eメール：edit@thelion.jp TEL：03-3542-9571）へご連絡ください。



ライオン誌日本語版委員会、グローバル指導力育成チーム(GLT/JA)共催

全日本ライオンズ若手フォーラム

次第

- 司会進行 L団英男 (GLTエリアリーダー[西日本]／元地区ガバナー)
- 1 開催あいさつ L大野元裕 (GLTエリアリーダー[東日本]／元地区ガバナー)
- 2 開催及び歓迎あいさつ L後藤隆一 (GLT会則地域副リーダー／元国際理事)
- 3 来賓ご紹介 L後藤隆一 (GLT会則地域副リーダー／元国際理事)
- 4 キーノート・スピーチ Lウィンクン・タム (GMT会則地域リーダー／元国際会長)
- 5 質疑応答 進行：L団英男 (GLTエリアリーダー[西日本]／元地区ガバナー)
- 6 アイスブレイク L進藤義夫 (330-A地区)
- 7 昼食：テーブルごとにお弁当を召し上がって頂きます
- 8 ビデオメッセージ L高田順一 (100周年実行委員会会則地域副委員長／元国際理事)
- 9 第1セッション趣旨説明 L植村茂敏 (333複合地区GLTコーディネーター／元地区ガバナー)
- 10 第1セッション「100周年事業に向けて」：100周年記念奉仕チャレンジ
- 11 ユニットセレクトタイム：ユニット発表 (各2分×8テーブル)
- 12 休憩：約15分程度の休憩とさせて頂きます
- 13 第2セッション趣旨説明 L玉川孝 (337複合地区GLTコーディネーター／元地区ガバナー)
- 14 第2セッション「次世代リーダーの育成」：いかにすれば育成が出来るのか
- 15 ユニットセレクトタイム：ユニット発表 (各2分×8テーブル)
- 16 ユニット代表発表：第1セッション代表4組／第2セッション代表4組による発表
- 17 繋がろう：100周年記念奉仕チャレンジ L莊英隆 (330-A地区)
- 18 総評 L西川義規 (国際理事)
- 19 お世話になった方ご紹介 進行：L団英男 (GLTエリアリーダー[西日本]／元地区ガバナー)
- 20 閉会の辞 L寺越慎一 (ライオン誌日本語版委員長／元協議会議長)
- 21 懇親会移動等へのご案内 L坪谷茂 (330-A地区)
- 22 ライオンズ・ローア L井村一男 (ライオン誌日本語版委員／元協議会議長)
- 23 終了：お疲れさまでした



CLUB REPORT

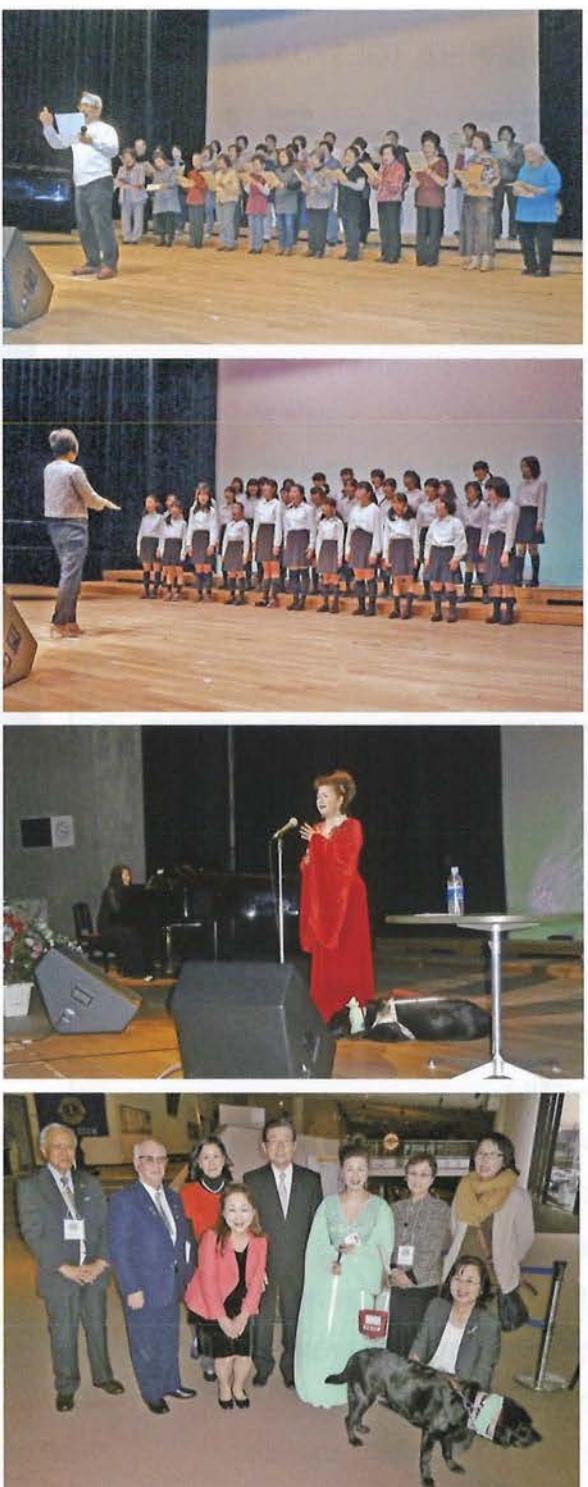
真摯に、そして熱く盛り上がる各地の行事

●市原に3頭目の盲導犬を! 「盲導犬育成 チャリティー コンサート」を開催

「市原に3頭目の盲導犬を!」のキャッチフレーズを掲げ、7Rの5クラブで組織する「市原地区ライオングループ盲導犬部会」を2013年3月に立ち上げました。1990年代に2頭の盲導犬を市原の目の不

自由な方に贈った先輩ライオンの志を引き継ぎ、3頭目を贈ることを目指したもので。部会立ち上げ以降、市民祭りや五井大市、7Rで実施している献血会場(年間約70回)での街頭募金を実施しております。

2015年3月14日(土)、市原市市民会館小ホールで半年前から準備してきた「盲導犬育成 チャリティーコンサート 八汐由子&オレオ」を



開催しました。7R全クラブの入場券販売活動、賛同して無料で出演を快諾していただいた「いちうたなかま(市原歌の仲間)」と「五井小学校合唱部」の皆さんのご協力を得て、

500席がほぼ満席となり、大盛況となりました。また、ご後援をいただいた(公財)日本盲導犬協会、市原市、市原市教育委員会、市原市工業会の皆さんのご協力に御礼申し上げます。

オープニングに先立ち、L竹内盲導犬部会長のお礼のご挨拶、L佐久間市原市長からは日本盲導犬協会井上理事長との交友関係のご披露がありました。そして、L正木前ガバナーからは出演者八汐由子さんが目が自由になつた「網膜色素変性症」の解説とライオングループがその研究に多くの助成金を提供し協力していることの披露がありました。

コンサートの第1部は「いちうたなかま」のベテラン歌手40名による昭和の歌謡曲のヒットメドレーで、会場の皆さんとの大合唱となりました。第2部は「五井小学校合唱部」による《花は咲く》など、清らかな歌声に大きな拍手がありました。そして第3部、盲導犬オレオに導かれて登場した八汐由子さんのソプラノ《平城山(ならやま)》から始まり、歌手デビューしてからの半生、オレオに出会いもう一度頑張ろうと決心したいきさつなどを語りなが

ら、持ち歌の『花よあるがままに』・
『愛をありがとう』など全10曲を熱唱。大きな大きな拍手とエールが送られました。

終了後、会場出口で八汐さんとオレオとお客さまとのふれあいの場面もあり、オレオが主役を務めておりました。

来場されたお客様からは「盲導犬について良くわかった」「良かった」「八汐さんの頑張りに感動した」「また開催して」等々、大好評でした。

今回の収益金と1年間の街頭募金を合わせ、約83万円の基金の積み立てが出来ました。

「市原に3頭目の盲導犬を!」実現に向けて、地道な募金活動を続けます。今後とも関係者の皆さんのご支援とご協力をお願い申し上げます。

● 松戸みどりLC 第10回 チャリティーディナーショー

2R1Z 松戸みどりLC

3月14日、2リジョン唯一の女性

クラブ、松戸みどりライオンズクラブの第10回チャリティーディナーショーに出席させていただきました。女性クラブらしくホワイトデーの日、『燃える恋づくし』の演目で日

本女性の美の世界を堪能させていた
だきました。

集まったチャリティーベースはLC
IFをはじめ、松戸市青少年育成事
業、千葉県アイバンク協会、盲導犬
を普及させる会に贈呈されるそうです。L木村紀子会長をはじめ、松戸
みどりライオンズクラブの皆さま大
変お疲れさまでした。

この日はとても寒く、ショッピング
来場者が少なかったこともあって
目標の採血量となりませんでした。
受付者34名、採血者28名、採血量
は400ml×28名で11200mlで
しました。

参加メンバーによる大声の呼びかけも虚しく、悪天候による人手不足

には勝てませんでしたが、前回同様、

お子様連れの方には風船を配りな
がらご協力を呼びかけていただき、
寒い中、足を止めていただけた
方々もたくさんおりました。次回も
工夫しながら活動を継続してまいり
ます。ご協力いただきました皆様、
誠にありがとうございました。



● 4R8クラブ合同例会

4R2Z 船橋翼LC

地区情報委員

L.花澤重人



3月24日火、「4R8クラブ合同例会」が開催されました。今年度も残すところあと僅かになりましたが、現在までの活動報告、これから行われる事業等の告知をリジョン全体で情報の共有を図ることが出来ました。また、懇親会では他クラブと楽しい会話の中から友情を深めることが出来たと思います。今年度も「一

致団結」して有終の美を飾れるよう邁進する例会が出来たと思います。幹事クラブの皆さんご苦労様でした。あと少し「頑張るぞ!!」



● 第2回チャリティーコンサート開催

1R1Z

市川フロンティアローズシニアLC
PR情報委員長

L.増田満世

3月29日(日)14時より市川文化会館小ホールにて昨年に引き続き当クラブ主催のチャリティーコンサートを開催しました。

当日は第五中学校及び国府台女子



● チャリティーボウリング大会

5R2Z 八千代中央LC

4月3日(金)、当クラブ第3回目となるチャリティーボウリング大会を開催させていただきました。

今回も総勢59名という多くの参加者にて盛大に執り行われました。過去2大会にも参加してくださった子供たちの顔もあり、年々成長していく様子も見ることが出来てとてもうれしい限りです。会場設営、下準備等、当日まで忙しい日がありましたが、子供たちの笑顔で疲れも吹き飛びました。このチャリティにて獲得

学院中等部・高等部の合唱部のみなさんの若さあふれる歌声、市川女声の心にしみる格調高い美しい合唱、国府台高校吹奏楽部アンサンブルのレベルの高い難曲の演奏に会場から大きな拍手が送られました。

第二部では、世界カラオケチャン

ピオンの田中照久さんの伸びやかで心温まる素晴らしい歌声と楽しいトークに会場は大いに盛り上がり、無事閉幕することができました。

このコンサートの収益金は地区の青少年健全育成、社会福祉支援に使わせていただきます。

このような大きな会場での初めてのコンサートは分からぬことばかりで準備も長期間にわたり、大変なことも多々ありましたが、ライオンズクラブのご協力にも支えられて成功裏に終えられたことを心から感謝いたします。



した資金で、少年野球チーム「北東タイガース」、「王子台シーガルズ」の2チームへ青少年育成寄付金を贈呈させていただきました。参加いた

だきました子供たち、保護者の皆様、誠に有難うございました。第4回も奮ってご参加いただけるようよろしくお願い申し上げます。

多くの仲間たちと「ライ
オンズクエスト説明会」
4R1Z・2Zにて

4 R地区情報PR・IT委員

花澤重人

4R1Z・2Zにおいて「ライオ
ンズクエスト」って何?という多く
のメンバーの質問に答える形で、ゾー
ンチエアパーソンとクエスト委員の



説明して下さいました。参加者（60名）の大半が大きくうなずきながら、また楽しく勉強会に参加することが出来ました。

「ラム」だと感じました。このプロジェクトを利用して家庭・地域・学校が連携して子供たちを見守ることが出来る信じて今後も活動していくと思います。

最後になりますが、第一副地区ガガ
バナーレ吉原稔貴、キヤビネット会
計レ福島真知世、クエスト委員長の
レ江尻吉郎、お忙しい中のご参加ご
協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

●松戸ライオンズクラブCN
50周年記念の集い

2R地区情報(PR・IT)委員

高橋順之

春爛漫の平成27年4月11日(土)、
本郷谷健次松戸市長、波木奏美ガバ
ナーをはじめとする現地区三役、吉
原稔貴第一副地区ガバナー、松本宰
史第二副地区ガバナーを来賓にお迎

L内山敦子主催のもと「ライオンズクラブ説明会」が平成27年4月7日(火)、船橋グランドホテルにて開催されました。当日は元地区ガバナーであり3333-C地区にライオンズ

クショップ（2日間）、多くの学校での体験会を開催しております。今までに300人ほどの先生方の受講がありました。本年もすでに1校のワークショップ、そして体験会が決定しています。

えし、松戸市森のホール21において「松戸ライオンズクラブCN50周年記念の集い」が開催されました。

1965年4月18日に市川LCのスponサーにより誕生した松戸LC



は、その後、1966年に旭LC、1967年に柏LC、1977年に松戸中央LC、1985年に松戸ユーニカルLC、1995年に松戸グリーングリーンLCと5つのクラブのエクステンションを行つてこられ、お祝いの席

いさつに始まり、唯一のチャーターメンバーで元参議院議長のL倉田寛之の50年永年在籍表彰も行われました。また、50周年記念事業として、式典は松戸LC会長L湯浅隆のあ

にはブラザークラブからも多数参加され、総勢172名の華やかな会となりました。

第2部「50年の足跡」では元地区ガバナーのL林護実行委員長のプロデュースによる、初代会長から現会長に至るまでのすべての歴代会長の写真とともに、各時代のアクティビティが上映され、時代の背景に合わせた曲が披露されました。先輩ライ

オンの若かりし頃の写真を拝見し、改めて50年という歴史の重みを感じました。

第3部の祝宴では、すべてのテーブルに松戸LCのメンバーがホスト役でつき、フラメンコや松戸南LCのL佐藤肇、L大橋真美子扮するエレキテル連合もどきが祝宴を大いに盛り上げてくれました。

松戸LCメンバーのみなさんは、数ヶ月前から入念に準備をされたと伺っております。事前準備から当日の進行に至るまで、細やかなお心遣いをありがとうございました。

この先、60年、70年の節目に向けて益々のご活躍をご祈念申し上げます。



● 卓話開催

9 R 3 Z 飯岡 LC

P R 情報委員長 L 宋 如芳

4月17日(金)、第2例会においてリーダーシップ委員会による今年度第2回目の卓話を開催しました。

今回は、飯岡の地にあって県有形文化財に指定されている玉崎神社第45代宮司、神原靖夫様を講師としてお迎えしての卓話です。

玉崎神社の創建は、景行天皇の40年（西暦110）と伝えられ、日本武尊東夷征討に向かう折海神の御守護を得んとして旧飯岡町下永井竜王



岬（現在のみなと公園より沖）に創建されたと伝えられています。現在地に御鎮座になったのは、永禄元年（1558年）のことです。

神原宮司様より、玉崎神社の由来、祭祀や江戸時代の国学、歌の道を学び著書も多く残している平田篤胤の「石笛の記」の一節に記されている、波に打ち寄せられた「寄り石」などについて熱く語されました。

クラブのメンバーも地域の歴史や伝統文化を保存し、後世に伝えていくことの大切さを改めて学び感じた次第です。

● 南三陸志津川LC 千葉 ネオLC 合同例会・友好 好クラブ協定締結式 告白

千葉ネオLC

会長 L 若菜智一

平成27年5月5日、宮城県南三陸プラザにおきまして、南三陸志津川ライオンズクラブ様と友好クラブ協定締結式を行いました。

南三陸志津川ライオンズクラブ様とは、震災当時の会長が、今年度は三役（会計）の年度ということもあり、当クラブから「復興した後もこれまでに築き上げました絆をより太

く長く携えていきたい」と申し出たところ、約4年間の災害支援活動を南三陸志津川LCの会員の皆様に認めていただき、チャーターナイトより54年の歴史を持つLCとの友好クラブ締結という大変な光栄にあずかることが出来ました。

私ども千葉ネオLCは東日本大震災直後に、自分たちに出来ることは何かを考えつつ、とにかく行動しようと、平成23年3月20日(日)に千葉県旭市で泥や瓦礫の撤去作業を行いました。

その後は、岩手県大槌町、宮城県



南三陸町、石巻市、福島県いわき市などで支援活動を行いました。そんな中、平成23年7月の復興市において南三陸志津川ライオンズクラブ・ブースでの販売のお手伝いや、南三陸町ボランティアセンターからの要請により南三陸町戸倉の清水寺様で復旧作業に従事したことから、南三陸町の方々や南三陸志津川ライオンズクラブとの絆も徐々に生まれてきました。

当初は瓦礫の撤去が主でしたが、時間と共に支援物資の寄贈や心と身体のケアなど支援活動の内容も二一



ズに合わせて変えてきました。

平成23年度はほぼ毎月、平成24年度からは最低2ヶ月に1回は南三陸町と石巻市を訪問し、継続的な支援活動を今現在も続けており、平成27年5月の支援活動で34回目になりました。

これまでの復興支援活動を通して築いてきましたご縁や絆を大切に、今後も被災地が復興する日まで携



わっていこうと考えています。当クラブを通して被災地支援している333+C地区のクラブ・クラブ会員の皆様方に感謝を申し上げます。

げるとともに、今後ともご協力をよろしくお願ひします。
We Serve!



●春の牡丹園散策

1R1Z

市川フロンティアローズシニアLC
PR情報委員長

L 増田 満世

晴天続きの連休の最終日、5月6

日に、5月の移動例会として登録有形文化財指定の茂原牡丹園に散策に出かけました。

手入れの行き届いた園内には色と



りどりの牡丹が咲き、白いハンカチ
そつくりの花びらのハンカチの木、
マロニエ、ギボウシなどが目を楽し
ませてくれました。

昼食は園内のかやぶき屋根の風情
ある古民家で、昨年同様、牡丹園社



長の特別手作りの美味しいなめろうや筍ご飯、味噌田楽、社長を交えての楽しい会話に大いに盛り上がりました。暖かい日差しの中で美しい花と新緑の木々に癒され、春らしい楽しい散策となりました。

● AED講習

5R2Z 八千代中央LC

5月10日(日)、八千代消防署にて「AED講習会」を開催いたしました。



当日は、少年野球の父兄を中心^に、12名参加していただきました。参加された方々からは、非常事態に遭遇した時には今回の講習会で学んだことを活かして勇気を持った行動ができればとの頼もしいお言葉をいただきました。

今後も救命技能を有する一般の方を増やすべく活動を続けて参ります。講習していただいた消防士の方、そしてご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



● 房総勝浦LCチャーター ナイト45周年記念式典

11R地区情報(P.R.I.T)委員

L佐藤則泰

5月10日(日)、五月晴れの中、勝

浦ホテル三日月において房総勝浦ライオンズクラブチャーチナイト45周年記念式典を総勢201名のご参加をいただき盛大に行いました。遠くは西東京市の東京田無LC、葛飾区の東京亀有LC、333-C地区

からは12クラブの皆様をお迎えし、333-C地区第一副地区ガバナー選出トヨ松本宰史、333-C地区名誉顧問・元ガバナーL長澤千鶴子を迎へ無事終了いたしました。皆様ご協力有難うございました。



● C N 50周年記念式典開催
のじ報告

千葉中央LC

50周年記念行事実行委員長

L 秋元貞雄

平成27年5月24



N 50周年記念式典
が大盛況のうちに開催されました。

千葉市市長の熊谷俊人様（当クラブ名譽会員）をはじめ御来賓の皆様及びライオンズクラブ関係者の皆様（総勢151名）には、ご多用の折ご出席を賜り心から厚く御礼申し上げます。

先輩諸氏の意志を継ぎ「個性豊かな魅力あるクラブづくり」と「継続は力なり」を念頭に、派手さはございませんが一歩一歩着実に歩んで参りました。

式典のオープニングは「テノール魅惑の歌声」と喧しくRoberto Candido氏と星 和代様（ピアニスト）によるコンサートに始まり、祝宴の席上では大木 理恵様（ハープ奏者）と高嶋 光江様（フルート奏者）による「別世界への誘い」と称する





演奏会を堪能していただきました。

また50周年記念事業として、社会福祉法人清輝会様、日本赤十字社千葉県支部様、社会福祉法人千葉のちの電話様、公益財団法人千葉市国際交流協会様の4団体に寄付金の贈呈をさせていただきました。

少數高齢化したクラブメンバーの「おもてなし」ということもあり、スマートさ(?)には難があつたかも知れませんが、少しでも心に「温もり」を感じ取つていただけたら大変嬉しく思います。

近年では科学と技術の素晴らしい発展に伴い、多方面でデジタル化され便利で効率の良い生活を求める傾向が強くなりつつあるような気がします。それはそれで素晴らしいことだと思いますが、人の心だけはいつまでも「アナログの時代」であつて欲しいものだと願う私は、やはり「時代おくれの男」なのでしょうか?

これから当クラブは【発想の転換】と【原点回帰】をも視野に入れ、変革再生を目指して参りたいと考えております。

今後とも皆様方のご厚誼を切にお願い申し上げ50周年記念の御礼とさせていただきます。

● 楽器で子供たちの学習支援!

千葉ネオLC

会長 L若菜智一

私も千葉ネオライオンズクラブは、千葉市がフィリピン・ケソン市と姉妹都市になっている関係でフィリピン・ラスピニアスクラシッククラブと、平成21年に姉妹締結し、毎年フィリピンの子ども達へ学習支援・物資支援などを行つています。

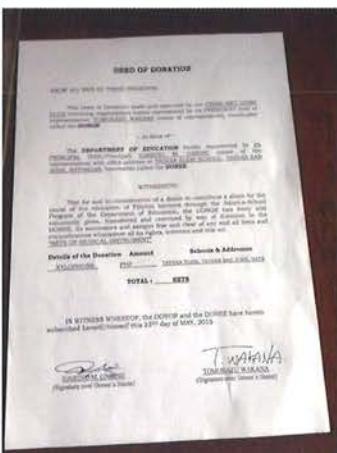


まだまだフィリピンでは、音楽のご賛同の上、ご協力ご尽力いただきました皆様方に改めてお礼申し上げます。

今回、楽器プロジェクトの趣旨にご賛同の上、ご協力ご尽力いただきました皆様方に改めてお礼申し上げます。

授業が浸透していないため、楽器も少なく設備も整っていないのが現状です。そんな中、今年は楽器プロジェクトと銘打ち企画して第1回目となりますが、皆様からご提供いただきました鍵盤ハーモニカなどの楽器を、平成27年5月22日にパリサイ小学校へお届けしてきました。

子ども達にも先生方にも大変喜んでいただけで、思っていた以上の歌と演奏の歓迎で涙が溢れる感動をメンバー全員がいただきました。





主な年間行事予定 (2015~2016年度)

行 事 名 ・ 会 場	期 日	該 当 者
次期クラブ三役研修会 カンデオホテルズ千葉	2015年5月23日(土)	次期クラブ三役予定者
第98回国際大会 米国・ホノルル	2015年6月26日(金) ～30日(火)	
第1回キャビネット会議 カンデオホテルズ千葉	2015年7月25日(土)	キャビネット構成員等
第2回キャビネット会議 千葉県経営者会館	2015年11月21日(土)	キャビネット構成員
第54回OSEALフォーラム タイ・バンコク	2015年12月3日(木) ～12月6日(日)	
第3回キャビネット会議 カンデオホテルズ千葉	2016年2月21日(日)	キャビネット構成員、年次大会委員
第62回地区年次大会前夜祭 ホテルリゾート舞浜	2016年4月23日(土)	
第62回地区年次大会 市川市文化会館	2016年4月24日(日)	
第4回キャビネット会議	2016年6月11日(土)	キャビネット構成員等
第99回国際大会 日本・福岡	2016年6月24日(金) ～6月28日(火)	

行 事 名 ・ 会 場	期 日	該 当 者
次期キャビネット構成員等研修会 カンデオホテルズ千葉	2015年5月16日(土)	次期キャビネット構成員等予定者
次期ゾーン・シェアパーソン研修会 市川	2015年6月13日(土) ～14日(日)	次期Z C、G M T、G L T、F W T等 予定者
夏期Y C E サマーキャンプ 新潟佐渡	2015年7月26日(日) ～8月2日(日)	Y C E 委員会、Y E 生、Y E 生O B
地区レオ夏期研修会	2015年8月8日(土) ～8月9日(日)	青少年育成・レオ委員会、レオクラブ
ライオンズクエスト全国大会 (主催333-B・333-C地区) 佐野市・佐野日本大学中等教育学校	2015年8月22日(土) ～8月23日(日)	各クラブより参加
地区献血推進研修会 ホテルスプリングス幕張	2015年9月17日(木)	各クラブより参加
夏期Y C E 生帰国・受入家族報告会 千葉県経営者会館	2015年9月27日(日)	Y C E 委員会
地区献血推進研究会 千葉県経営者会館	2015年10月1日(木)	各クラブより参加
薬物乱用防止教育認定講師育成 千葉県経営者会館	2015年11月2日(月)	各クラブより参加
冬期Y C E 派遣生壮行会 千葉県経営者会館	2015年11月22日(日)	Y C E 委員会
第35回ライオンズクラブスピーチコンテスト 千葉県教育会館	2016年1月23日(日)	各クラブより参加
冬期Y C E 生帰国・受入家族報告会 千葉県経営者会館	2016年2月14日(日)	Y C E 委員会
レオ海外研修	2016年3月	青少年育成・レオ委員会、レオクラブ
夏期Y C E 派遣生壮行会 千葉県経営者会館	2016年5月15日(日)	Y C E 委員会

公式行事

主な行事



クラブニュースの投稿について

各クラブよりニュースの投稿を受け付けております。地区HPや地区ニュースに掲載いたしますので、ふるってご投稿ください。

- ・新規入会の入会式
- ・100%例会(本誌でも取り上げますので、ぜひ記念写真を)
- ・女性会員や若手会員勧誘のための試みや催し
- ・ゾーン、リジョン合同アクティビティ、複数クラブでの合同アクティビティなど

クラブニュースの投稿は、地区ホームページの
[クラブニュース投稿]より投稿できます。

※投稿の際は、下記の点にご注意ください。

文章は「記事本文」の欄にご記入ください。画像にして添付するのはおやめください。

写真はワード等に貼り付けず、画像ファイルのまま添付してください(3ファイルまで)。

画像サイズは、1024×1024ピクセル以内でお願いします。

写真等の添付ファイルの容量は1ファイル…5.7メガバイトまでです。

なお、ファイルサイズが大きい場合、アップロードに時間がかかります。

地区情勢

	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	19	3	16	139	42
2Z	20	1	19	132	43
計	39	4	35	271	85
2R	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	9	15	-6	130	28
2Z	10	9	1	92	10
計	19	24	-5	222	38
3R	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	20	5	15	113	11
2Z	11	14	-3	189	3
計	31	19	12	302	14
4R	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	10	11	-1	109	23
2Z	10	0	10	118	71
計	20	11	9	227	94

	入会	退会	増減	在籍数	FM数
5R	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	9	22	-13	132	7
2Z	10	10	0	127	15
計	19	32	-13	259	22
6R	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	6	7	-1	181	33
2Z	10	6	4	103	32
計	16	13	3	284	65
7R	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	20	7	13	98	1
2Z	3	18	-15	68	10
計	23	25	-2	166	11
8R	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	17	18	-1	197	13
2Z	10	3	7	116	15
3Z	2	3	-1	80	1
計	29	24	5	393	29

	入会	退会	増減	在籍数	FM数
9R	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	4	7	-3	195	18
2Z	22	4	18	149	31
3Z	12	4	8	222	0
計	38	15	23	566	49
10R	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	6	11	-5	81	53
2Z	2	15	-13	152	100
計	8	26	-18	233	153
11R	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	4	7	-3	57	17
2Z	38	6	32	194	0
計	42	13	29	251	17
12R	入会	退会	増減	在籍数	FM数
1Z	3	9	-6	82	2
2Z	5	5	0	62	0
計	8	14	-6	144	2

2015年5月31日現在

※入会・退会は期首からの累計数。 FM数は、ファミリー会員数。
 在籍数はファミリー会員数を除外した数。

	入会	退会	増減	在籍数	FM数
地区合計	292	220	72	3,318	579

過去において各委員長が苦労されたことを身もつて体験できました。今期、情報委員会は地区ニュースをし阿佐幸雄副委員長に、ホームページをし杉山民生委員を中心になつていいただきご苦労いただきました。また、内局のし橋爪雅子のおかげで子供達の「絵」を集めることができました。皆様、ありがとうございました。

(倉水記)

▼地区ニュースを、年間4回発行することはいかに大変なことかよく分かりました。

過去において各委員長が苦労されたことを身もつて体験できました。今期、情報委員会は地区ニュースをし阿佐幸雄副委員長に、ホームページをし杉山民生委員を中心になつていいただきご苦労いただきました。また、内局のし橋爪雅子のおかげで子供達の「絵」を集めることができました。皆様、ありがとうございました。

ニュース第4号をお送りします。今となれば、よく第4号まで出稿できたと考えています。本号は、第61回地区年次大会をヘッドニュースとして取扱いました。やはり、目玉となるニュースがないと編集に困ります。第1回の目玉が国際大会、第2回がオセアリアンフォーラム、第3回がカンボジアに学校建設と新クラブ設立でした。表紙も特徴を持たせることは骨が折れます。今期は、地区ガバナーリ波木奏美の発案による子供たちの「絵」です。第1号がガバナーメージであるひまわり、第2号が国際平和ボスター、第3号がおひな様。そして、第4号が年間を表現するカレンダーです。

編集後記

333-C 地区の皆様、地区ニュース第4号をお送りします。今となれば、よく第4号まで出稿できたと考えています。本号は、第61回地区年次大会をヘッドニュースとして取扱いました。やはり、目玉となるニュースがないと編集に困ります。第1回の目玉が国際大会、第2回がオセアリアンフォーラム、第3回がカンボジアに学校建設と新クラブ設立でした。表紙も特徴を持たせることは骨が折れます。今期は、地区ガバナーリ波木奏美の発案による子供たちの「絵」です。第1号がガバナーメージであるひまわり、第2号が国際平和ボスター、第3号がおひな様。そして、第4号が年間を表現するカレンダーです。



Lions Club
International District
333-C

We Serve

1 ハートガーデン おかしなうき

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
5	6	7	18	19	20	21
2	3	4	25	26	27	28
7	30					

12 よし屋かわや

1	2	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1 えいあんぐ わいとうしき

1	2					
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2 サンタのまき

1	2	3	4	5	6
8	9	10	11	12	13
15	16	17	18	19	20
22	23	24	25	26	27
29					

3 えいあんぐ まよはいゆうま

1	2	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



学校法人 泉学園
千城東幼稚園

■発行日 2015年6月20日 ■発行人 地区ガバナー L波木奏美 ■編集人 地区情報委員長 L倉永富男

■発行 ライオンズクラブ国際協会333-C地区

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館4F
電話 043-243-2528 FAX 043-247-4756 URL <http://lionsclub333c.org/>

■デザイン・印刷 有限会社プリントピア 〒260-0001千葉市中央区都町1-13-16